

- 報告 1 「人口と家族に関する特別委員会」の進行状況について（福武直委員長）
- 2 昭和61年人口動態統計，昭和61年簡易生命表および1987年世界人口白書の概要（清水康之政策課長）
- 議題 1 第四次全国総会開発計画について（野村誠国土庁計画官）
- 2 世帯数推計等について（阿藤誠専門委員）

日本老年社会科学会第29回大会

日本老年社会科学会（学会長：那須宗一淑徳大学長）の第29回大会は，昭和62年10月1日（木）～3日（土）の3日間にわたり，大阪市立労働会館（東区森ノ宮）において開催された。今回の大会は，日本老年医学会（第29回総会）および日本基礎老化学会（第11回大会）と隔年で共催する日本老年学会の第15回総会としても同時開催され，盛大な大会となった。

共通の基本テーマを「活力ある幸せな長寿社会の構築」とした老年学会（会長：阿部裕国立大阪病院院長）では，会長講演「長寿社会における技術と人間」をはじめとし，近藤宗平氏（近畿大学原子力研究所）の「寿命はプログラムされている」および会田雄次氏（京都大学名誉教授）の「未来社会と日本の老人問題—欧米と日本—」の興味ある2題の特別講演があった。また，「日本型長寿社会のビジョン—長寿社会におけるライフサイクルの設計—」と題するシンポジウムが，古川俊之氏（東京大学医学部）司会の下に行われたが，蠟山昌一氏（大阪大学経済学部）の「社会経済学からの提言」を皮切りとして，以下，古瀬徹（日本社会事業大学），西村周三（京都大学経済学部），龜山正邦（住友病院），大國美智子（近畿大学医学部）および荒木兵一郎（関西大学工学部）の各氏による報告があった。それらの報告をめぐって活発な討論がくりひろげられた。

今回の老年社会科学会での一般報告は80題をこえる多さを数えたが，人口に関連あるものは，遠藤マツエ氏（徳島大学総合科学部）らの「徳島県における人口高齢化と高齢者の生活実態」と染谷倭子氏（鹿児島経済大学社会学部）の「鹿児島県大浦町における過疎化と高齢化—人口流出と高齢者の生活—」の2報告で，例年に比べて少なかった。シンポジウムは名倉道隆氏（竜谷大学）司会の「要援護老人を支えるネットワークづくり」であった。なお，明年の第30回大会は京都（仏教大学）で開催される予定である。

（山口喜一記）

第60回日本社会学会大会

日本社会学会の第60回大会は，昭和62年10月2日（金）・3日（土）の両日にわたり東京・世田谷の日本大学文理学部で開催された。

人口，老人，家族に関する一般報告としては，「東京都の人口流入・集積性と健康・寿命の研究—30年間の推移の多変量解析を中心にして—」（佐久間淳），「東京都内S区に居住する高齢者の生活実態—地区・世帯類型と住居・所得・就労等からみた『階層』性—」（大久保武），「老親への責任意識—日・台・韓の大学生調査より—」（細江容子），「直系家族と居住規制—宮城県O集落と鹿児島県N集落の比較—」（岩田知子），「混住化地域における高齢者の社会関係」（保坂恵美子），「現代家族の世代間関係」（三谷鉄夫，白倉幸男）等々の報告があった。また，テーマ部会の一つとして「高齢者の日常生活—社会学的アプローチ—」（岡本英雄，袖井孝子，木下謙治）が設定され活発な議論が展開された。

なお，本研究所からは，山口喜一，清水浩昭両技官が出席した。

（清水浩昭記）